

看護連盟 いばらき

第59号

2024年1月15日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
info@ibaraki-kangorenmei.jp



目次

会長あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
いばらき自民党看護政策懇話会・岸田総裁との意見交換会 自民党茨城県選出国會議員への要望書提出	4
看護連盟・看護協会合同会議	5
関東甲信越看護管理者等政策セミナー ポリナビワークショップ in いばらき	6
茨城県看護連盟支部活動報告	7
2023年度研修会参加者の声 国会見学	8
施設紹介・わたしの休日	9
編集後記	10

2023年度会員数
(R5.12)

4,576名

茨城県看護連盟会長あいさつ



看護職の自律へ向けて共に頑張ろう！ 茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日頃から連盟活動にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

世界的に猛威を奮った新型コロナウイルス感染症も完全な収束には至りませんが、皆様にとつて今年のお正月はどのような思いで過ごされましたでしょうか。

昨年は、看護職にとって31年ぶりに改正された「国家公務員医療職俸給表（三）」が4月より施行されましたが、全ての看護職員の処遇改善の実現には至っていないため今年4月の診療報酬等の改定に向けて、日本看護連盟・日本看護協会はもとより都道府県看護連盟・看護協会を中心に地元国会議員等へ要望書を直接提出するなどの活動を強力に進めてまいりました。また、連盟活動の目的を達成するためには会員拡大が必要です。看護管理者・支部長等が中心になり非会員を含めた研修会の実施や施設訪問等を行い会員確保に努めていますがなかなか入会には結びつかない現状があります。看護連盟の必要性について認識を新たに、ひとりでも仲間が増えることをみんなの力で実現しようではありませんか！

2024年が、私達看護職にとってさらなる躍進の年になりますよう大いに期待しましょう！

さらに、看護連盟と看護協会が共に協力して活動が推進できるよう皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟 会長 高原 静子

新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様にはどんな抱負を胸に新しい年を迎えられたのでしょうか。

2024年は医療・介護・障害福祉分野のトリプル改定の年です。改定の基本的な視点と具体的な方向性として「現下の雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革等の推進」を重点課題に据えています。

それぞれの分野の職員に対する処遇改善、ICT、ロボットの導入等による職場環境の改善、人材の養成・確保・定着対策、医師の時間外労働時間の上限規制によるタスクシフト/シェア、第8次地域医療計画のスタート等々、目が離せません。

看護連盟は2024年も変わることなく、「現場の問題」を看護政策としてその実現に向け活動し、「看護連盟があつてよかった」と存在意義が実感できる組織作り、活動を目指してまいります。

さて、時期不明ですが2024年は衆議院選挙の年になるでしょう。そして、組織内候補者予定者「石田まさひろ参議院議員」の後援会も発足いたしました。現在の4人の看護職国会議員が一人も欠けることなく活動していただけるよう皆で協力し合ひましょう。



茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

茨城県看護連盟会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

茨城県看護連盟の皆様、2023年はどんな一年でしたか。

2023年は看護職がおかれている現状について、各方面の方々に実情をお伝えし、看護職がいきいきと働くことができるよう、山本会長をはじめ連盟の皆様と共にご支援をお願いして参りました。この経験により、政治をより身近に感じることができました。このようなロビー活動は、日本国憲法において定められた国民一人ひとりの権利として認められています。茨城県選出の

国会議員の方々はいずれも国政に真摯に向き合い、看護に耳を傾けて下さいました。これも常日頃からの山本会長とのコミュニケーションが良くとれていることの表れと推察しました。また、11月に関東ブロックの政策セミナーが山梨県であり、青年部の方々の積極的な発言に接し希望を感じました。今年は診療報酬改定が迫っており、厳しい声もありますが看護は常に「患者中心」です。何があっても誇りをもって進みたいですね。

看護職議員活動報告



衆議院議員 あべ 俊子

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

また、年初めの能登半島地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。少子高齢化で地方は厳しい状況です。次世代に送り継ぐ日本のための医療・介護の在り方、人材育成など多くの課題に取り組んでいく必要があります。地域事情は其々で、まさに人こそが街をつくり、人こそが雇用を支えています。世界情勢の変動、コロナ禍で拡大したDXなど多くの事柄が急速に変化しています。このような変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域

医療の推進につなぐ方法を常に考えています。

昨年12月には皆様のご支援のもと文部科学副大臣を拝命いたしました。子どもたちの心身を健やかに伸ばすことができる教育文部科学行政に全力で取り組んでまいります。時代は大きく動いていますが、いつの時も政策立案の基本となるのは現場の声です。人や社会を支える看護が、時勢に基づき、変革することを貴連盟の皆様と一緒に支えてまいりたいと存じます。

あべ俊子政経セミナー
(ザ・プリンスパークタワー東京)看護師の方々の勉強会
(講師をさせていただきました)

衆議院議員 たかがい 恵美子

初春の穏やかな日のに皆様の健康とご多幸を祈りながら、スタートダッシュで職務に臨んでおります。看護職の皆様には平素変わらぬご厚情を賜り、加えて能登半島地震被災地へのご支援をいただいております。深く敬意を表します。寒冷の中、過酷な環境下で復旧活動にあたる皆様へ心から感謝を申し上げます。狭隘道路や傾斜地を縫っての救難救助には従来の経験を超える困難が伴います。一刻も早い生活再建に向け、より広範囲に手厚い支援体制の構築を進めて参ります。

また党におきまして、政策研究会における政治資金不適切取扱い事件を端緒に、健全な政治刷新のための79条機関が設置され、高階は本部幹事に指名されました。1月11日の初会合で「一人一人が解体的な出直しをする覚悟を持って誤りを正し、国政の健全化に資する制度整備を急ぎ、公明正大に共感と信頼の得られる政治活動ができるよう切磋琢磨したい」と抱負を述べました。

何時いかなる状況にあっても看護職らしく実践を科学する専門性を活かし、努力を惜しまず自らの使命を果たして参ります。



IPU会議にて



復興特委員長



参議院議員 石田 まさひろ

令和6年能登半島地震により、被害に遭われました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興に努めて参ります。

「看護師等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」が31年振りに改定されました。これは、日本看護連盟・日本看護協会から指針改定の要望が看護問題小委員会に提出され、政府へ改定を要請した賜物です。看護師の確保推進という指針の目的を果たすため、時代に即した指針への改定が実現しました。

国会においては、予算委員会理事(次席)、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命いたしました。特に、予算委員会は社会の注目を集める難しい委員会ですが、役目をしっかりと果たしていけるよう尽力いたします。また、国会対策委員会副委員長として円滑な国会運営に向けて走り回ると共に、厚生労働政策を推し進めていきます。

本年も引き続き、現場の声をしっかりと受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動して参ります。



予算委員会理事を務めています



女性局長代理を務めています



参議院議員 とも の う りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、この度の地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

皆さまに国政の場へ送り出させていただいてから約一年半が経過しました。昨年の国会では、参議院の委員会、看護職の処遇改善、来るべき有事に備える内閣感染症危機管理統括庁への看護職の積極的な登用、訪問看護への支援等を訴えました。通常国会においては、看護職の定義を明確にする介護保険法等の改正もなされ、看護師出身の弁護士として看護職に関する法律を整備する自身の役割を再確認したところです。

看護職の処遇改善については、昨年の当選後、寝たきりだった医療職俸給表の改定がなされ、選挙で訴えていたことが1つ実現しました。本年の診療報酬等のトリプル改定に向けての議論も加速していきます。この改定が皆さまの給与アップに繋がるようしっかりと取り組んでまいります。

看護の現場の声を国政に!本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



厚生労働委員会 質問



岸田首相へ申入れ



第212回臨時国会開会式



2023年度 茨城県看護連盟活動報告

いばらき自民党看護政策懇話会

2023年9月26日(火)

幹事長 岸 洋子

9月26日(火) 16:00～17:00 茨城県議会議事堂において、令和4年度3月に設立いたしましたいばらき自民党看護政策懇話会の第1回を開催いたしました。茨城自民党県議会議員18名、茨城県看護連盟からは山本会長、副会長2名役員、支部長合わせて24名、茨城県看護協会白川会長、理事3名が出席いたしました。

初回の顔合わせと「看護師不足」「5類移行後のコロナ感染対応」「看護師養成課程の定員割れ」等について意見交換を行いました。



岸田文雄総裁との意見交換会

2023年10月7日(土)

茨城県看護連盟会長 山本 かほる



令和5年10月7日(土) 岸田文雄総裁が来県し、ホテルレイクビュー水戸においていばらき自民党との意見交換会に出席されました。

意見交換会には、いばらき自民党議員や支持団体の代表約100名が出席しました。意見交換会ではいばらき自民党議員4名、支持団体から3団体の代表者が意見を述べました。茨城県看護連盟の山本会長は「少子化対策について」意見を述べました。岸田総裁より一問一答丁寧な答弁をいただきました。



自民党茨城選出国會議員への要望書提出

令和5年11月、茨城県選出の自民党国会議員(衆議院7名、参議員2名)へ看護連盟山本かほるの会長・看護協会白川洋子会長・連盟役員・協会役員・支部長で要望書を各議員へ訪問し直接提出いたしました。要望内容は、医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する要望で、要望事項は「1. 物価高騰に苦しむ医療機関、訪問看護事業所、介護保険施設・事業所等の経営を支援し、すべての看護職員の処遇改善が可能となるよう、必要な財政措置を講じられたい。2. 令和6年度診療報酬改定において「看護職員処遇改善評価料」の対象をすべての看護職員に拡大するとともに、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定において同様の措置を講じられたい」です。各議員の先生方へ要望の説明、意見交換等を行いました。



2023年度 看護連盟・看護協会合同会議報告

2023年10月27日(金)



第2副会長 秋葉 はつひ

去る10月27日に栃木県宇都宮市に於いて、関東甲信越ブロックの各看護連盟役員、看護協会役員が一同に会して、テーマ「会員確保に向けた職能団体としての具体的な連携について」の会議が開催されました。冒頭、日本看護連盟会長高原静子様、日本看護協会会長高橋弘枝様との挨拶があり、その後、看護協会会員状況と入会促進活動を日本看護協会勝又専務理事から報告があり続いて看護連盟会員状況と入会促進活動を日本看護連盟近藤幹事長より報告ありました。その後討議開始となり、討議はグループワーク形式で各都県の会長や幹事長、副会長が均等に分かれて、情報共有と今後の取り組みについて話し合いを行いました。

各グループからの発表内容としては、看護連盟と看護協会との連携として同行施設訪問や合同研修会、合同会議の充実が必要との意見があり、また、会員数拡大として新入職時オリエンテーションの工夫、PR動画の開発・活用や青年部の活動支援、看護学校での指導などが主な内容でした。

茨城県においても、今後も看護協会との連携強化を図りながら、まだ本県で取り組んでいない内容を検討し、会員数増加に向けた活動を行っていく所存です。今後とも会員の皆様のご協力を賜りますようお願い致します。

看護連盟・看護協会会員の入会対策を考えよう!!

2023年度の看護連盟・看護協会合同会議において、看護連盟と看護協会との連携を充実させ、組織の強化を図ることを目的に全国6ブロック毎に開催され、具体的な目標として活動内容を情報共有し、会員確保に向けて協働していくこととしており、活発なグループワークが行われました。

本県の連盟会員数の推移は、2020年から毎年減少し続けております。この現象は全国でも同様の傾向であり、これまで連盟会員は約20万人と言われ続けてきましたが、2023年9月末現在で167,523人まで落ち込んでおり目標の20万人には達成が厳しい状況にあります。一方、看護協会においても看護職の就業者数は増加しているにもかかわらず2022年度は会員数が減少に転じています。

連盟会員、協会会員共に会員減少が進行しており、日本看護協会の会員数減少の要因は様々あるが、会員情報管理情報交換会等(7/5開催)では以下の要因があげられています。①入会しない若者層の増加、②施設取りまとめ役の働きかけが弱まっている。③コロナ禍による要因。④働き方が多様化し、入会しない者が増加した等があげられています。日本看護連盟の会員数減少の要因も、日本看護協会同様に入会しない若者層の増加が考えられます。

看護協会との協力関係は必要不可欠です。共に入会対策を考えよう!!



年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
連盟会員数 (人)	201,945	202,393	204,744	204,628	202,656	200,237	195,586	190,578	186,858	178,657
協会会員数 (人)	681,868	694,003	707,792	718,275	722,913	745,891	758,690	764,352	765,772	761,443
協会員に対する 連盟会員比率 (%)	30	29	29	29	28	27	26	25	24	24

出典 2023年度看護連盟・看護協会合同会議資料抜粋

関東甲信越看護連盟管理者等政策セミナー 2023年11月17日(金)・18日(土)



茨城県厚生農業協同組合連合会
茨城西南医療センター病院
看護部長 飯塚 真弓

2023年11月17日～18日の2日間、日本看護連盟の組織強化・拡大に向けて連盟活動の推進を高める目的で政策セミナーに参加致しました。講演やグループワークを通して看護の未来をどのように変革していくか、次世代を担う青年部活動の在り方や仲間づくりについて多くの学びを得ることができました。石田昌宏議員政策秘書の五反分正彦先生の講演では、3つの処遇改善(慰労金・補助金・診療報酬臨時改定)が決定されるまでの経緯を拝聴し、看護職の存在価値を高めるために、現場で日々奮闘する私たちの声を多くの国民や議員の方々に届けることが政策実現に繋がると改めて再認識しました。

2日間の学びを活かし、自身と誇りを持ち看護の未来を創造していきたいと思えます。



茨城県厚生連 総合病院
水戸協同病院 武子 裕介

少し肌寒くなった11月17～18日、山梨県で看護連盟会長、看護協会会長、看護管理者、看護教育代表者、青年部代表者が各10都県が集まりセミナーが開催されました。初日は日本看護連盟会長、看護職国会議員の挨拶の後、看護師である瀬戸先生、日本看護連盟常任理事の井本先生、青年部代表である椿先生による講演が開催され、看護連盟の役割や熱い思いを聞けました。

2日目は、参議院議員石田先生の政策秘書である五反分先生による講演があり、その後8Gに分かれて「看護の力を活用し、組織強化のために何をすべきか」のテーマに沿って話し合いました。他県の役職や経歴も違

う方々の様々な意見が聞けてとても勉強になりました。今後もこの経験をもとに、自県の青年部活動に活かしたいと思います。



ポリナビワークショップ in いばらき 2023年10月7日(土) 13:30～16:00



青年部副委員長 広瀬 礼美

2023年10月7日に「看護の未来を考える」～政治と看護とは～をテーマとしてポリナビワークショップ in 茨城がコロナの影響もあり4年ぶりに開催されました。友納先生をお呼びし、現在の看護の代表の先生方や国がどんな動きをしているのか、今後の課題等を聞かせて頂きました。また、今現場ではコロナ前と比較して困っている事や悩んでいる事が多いのではないかと考え、「現場の声」をみんなで共有する時間を作りたいという思いから、友納先生の話を踏まえてグループワークで自由に話をしてもらい、楽しく活発な意見交換の時間となりました。今回の皆さんの声を参考にこれからの看護の現場がさらに良くなるよう、茨城県看護連盟青年部の活動に活かしていきたいと思えます。



白十字総合病院 植田 智

私は、医療と政治の関係性について普段業務を行っているなかで、あまり強い関係性があると考えた事はありませんでした。今回はじめてポリナビワークショップに参加し、様々な方とグループワークをさせて頂きました。私たちの働いている鹿行地域は医療過疎地と呼ばれており医師や看護師、介護士が不足しています。1人1人の負担や責任が大きくなってしまい、ワークライフバランスもうまく保てないという意見も多く聞かれました。

ですが、医療現場の声を代表として国会議員の先生方が国に対して声を出し発信しているおかげで、少しずつ緩和されていると感じます。すこしでも良い看護を提供できるように、環境づくりをサポートしてくれているのだと今回の研修で学ぶことが出来ました。これまであまり関心を抱くことができなかった政治と看護について、様々なことを知識として得ることが出来ました。これからも看護師としてより良い看護を提供できるよう頑張っていきたいと思えます。





茨城県看護連盟支部活動報告

水戸第1支部研修会

日時：2023年9月13日(水)



水戸第1支部長 丹野病院 大内 悦子

9月14日に支部研修会としてフラワーアレンジメント教室を開催しました。器選び、花の配置、長さ、花の向きなどを含め1つの形を作り上げることで完成するのがフラワーアレンジメント。同じ花を使用しても、作る人によって色々な花が完成し、教室が賑やかに、個性豊かな花々が並びました。

花に触れながら、花をどんなふうに使ったら、美しくなるかを考えていく過程の中で、心の感動を形にできたと思います。どんな風に花の魅力を見つけ出し、感動を表現するのか。そして、どんな風に感動を表現したらよいのか。看護の心にもつながる、心穏やかなひと時を過ごしました。



県南4支部・土浦支部合同研修会

日時：2023年10月13日(金)



県南第1支部長 東京医科大学茨城医療センター 看護部 根本 幸代

10月13日、県南4支部と土浦支部で、石田昌宏議員を招いて、合同研修会を開催致しました。目的は①研修受講を機会に、看護連盟への理解を深め会員確保に繋げる。②看護政策実現のための政治活動を理解する。③研修を通して、現場の声を届ける。とし集合とZoomを併用して行い、会員・非会員を含め200名以上が参加し、とても盛大で有意義な研修となりました。

コロナ禍において、私達看護師は、最前線で頑張ってきました。その努力が社会で評価され処遇改善に繋がったことや看護政策活動の話を生々の声で聞くことができ、とても嬉しく思うとともに看護師資格をもつ国会議員がいる意味を強く感じました。

看護の環境改善・看護の質向上のためにも、「現場の声」を届けていかなければ何も変わらないことと共に看護連盟の役割の大きさを感じました。



結城支部・古河支部合同研修会

日時：2023年10月21日(土)



結城支部長 結城病院 渡邊 ユリエ

今回、コロナ禍で疲弊した会員が、少しでもリフレッシュでき日々の看護への活力に繋がられるような研修にできたらいいなという思いから古河支部と合同研修を企画しました。

「もちゃん先生 直伝 スーパーエコごはん楽々キッチンライフ」と題し、スーパーエコごはん研究家の桃世真弓先生にご講演いただきました。スーパーエコごはんとは本当に必要な作業と手間で作る、身体にもお財布にも優しい簡単美味しいおうちごはんのことです。今回、フリートーク形式で会員と会話をしながら、料理のコツや、簡単にできるレシピを教えてくださいました。会員からも気分転換になった、楽しかった、料理をしてみたい・してみようと思った等好評でホッとしました。





2023年度 研修会参加者の声

茨城県看護連盟会員・新入会員研修会「医療者と患者・家族のより良いコミュニケーションのために」

日時：2023年8月19日(土) 13:30～16:00 場所：看護研修センター 講師：江戸川大学 教授 隈本 邦彦 先生



「医療者と患者・家族のより良いコミュニケーションのために」に参加して

城西病院 海老原 さつき

看護師になり3年目。最初に研修の参加を勧められた時は、なぜ今になってコミュニケーションの研修なのだろうかと少し疑問でした。

医療現場におけるインフォームド・コンセント(IC)の正しい在り方とはどんなものであるか。ICはあくまでも患者主体の言葉であり、説明したことが重要ではなく患者が本当に理解できたかどうかが重要であること、つまり患者・医療者間での情報と決断の共有であるということを変更して学びました。これまでのICではこれがきちんと達成されていたのだろうか。医師の想定する治療に誘導してしまっていたらどうか。患者の立場を守るべき看護師として自分はどの行動すべきか、それを考えていくことがこの研修に参加した意義であると理解しました。

茨城県看護連盟会員研修「裁判例から学ぶ看護職の法的責務と看護記録」

日時：2023年10月7日(土) 10:00～12:30 場所：ホテルレイクビュー水戸 講師：参議院議員 友納 理緒 先生



友納理緒先生の講義を受講して

つくばセントラル病院 本名 航

今回上司の推薦もあり、初めて研修会へ参加させていただきました。その中で「裁判例から学ぶ、看護職の法的責務と看護記録」を聴講することができました。まず裁判事例を通し、看護職がいかに法に守られ法のもとに業務を行っているかを改めて理解するとともに、『民事・刑事・行政処分』が自分にも起こりうる可能性があることを念頭に質の高い看護の提供を心がけなければならぬと感じました。看護記録に関しては、『自分なり…』の記録ではなく、意図が読み取れるような記録、不用意な略語や造語を使用せず正しい言葉で正確に適切なタイミングで記録することの大切さを学びました。さまざまな経歴ある先生ならではの、わかりやすい講義で大変勉強になりました。ありがとうございました。

国会見学

日時：2023年9月13日(水)



国会見学に参加して

介護老人施設 あんしん 戸村 真由美

興味を持ち、今回茨城県看護連盟の国会議事堂見学に参加させていただきました。

まず、はじめに驚いたのが看護連盟と現役国会議員の先生方との距離の近さです。日頃から看護についてディスカッションされ、最善な方向に導いてくれているのがありありと伝わってきました。この関係性があるからこそ現場の声が政治に届いているのだと実感しました。

国会議事堂の歴史的な建物の素晴らしさはもちろんのこと、人と人との繋がりや素晴らしさも学ぶことができました。素敵な未来の看護を!という同じ目標を目指す方々の目がキラキラ輝いていたのが印象的です。

臨床で働いているだけでは知り得ることが出来ないことを経験することができました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



国会見学に参加して思ったこと

ひたち医療センター 石本 道子

今回、国会議事堂を見学という機会をいただき参議院議場等を見学してきました。この中で国政が決まっていくのだと思いをはせ、

案内の説明を聞きながら建物内を回り重厚なつくりにより圧倒され感動しました。見学後、連盟会長の話の中で看護師の職場環境や待遇などの改善を実現するためには、政治への関心を持ち、現状を知る看護師を国政へ送ることの重要性を改めて考える機会となりました。また、各議員の方の国政報告を聞くことで、医療や社会保障などを変えていくため活躍されていることを知り、私たちの声を国政に届けるためにお互いの関係性を構築することが大切であり、看護連盟の活動が重要になってくるのだと理解しました。これからも、看護連盟を理解してもらえよう活動内容を発信し、会員の増員につながるよう活動していきたいと思っております。



施設紹介

小山記念病院

透析センター師長 岩村 好江

当院は鹿嶋市にある一般病床194床、地域包括ケア病棟30床、合計224床の病床をもつ二次救急病院です。「私は、心から患者様の身になって医療行為を致します」という病院理念のもと、地域の透析患者さんの為にスタッフ全員が力を合わせて日々の業務を行っています。そのなかでスタッフは患者さんへケアの向上を目標に掲げ、今年は勉強会や資格取得に向けて頑張っています。透析センターは58床あり、患者数は外来・入院合わせて170名前後です。月金は夜間まで3クール、火木土は1クルールの透析を行っています。高齢者の患者さんも当院の送迎を利用して多く通院されています。



水府病院

看護部長 山崎 理香

当院はJR常磐線赤塚駅から徒歩3分という便利な場所に位置する二次救急病院です。

「地域の皆さまのために、安全で質の高い、心のこもった医療を提供します」という理念のもと、地域に根ざした医療の提供を目指すために、従来の急性期医療を維持しながらも回復期の機能も併せ持つ地域包括ケア病棟、訪問看護ステーション、家屋調査など、在宅への移行に向けた調整ができる環境に取り組んでいます。

高齢化社会に向け社会情勢が変化中、看護師に求められる役割は多岐にわたり、重要性が高まっています。当院看護部は、日々変化する社会情勢を肌で感じつつ敏感に受け止めながら、私たちがなければできない看護を求め、躍動的に動き、多様化する患者さまのニーズに柔軟に対応できる“しなやかな看護”の実践を目指しています。



わたしの休日

JAとりで総合医療センター

奥村 慎治

私の休日の過ごし方は、主にDIYとキャンプです。

父が残してくれた電気ノコギリなどの工具を使い、パソコン機やテレビ台、棚、コンクリートを使用しブロック塀を作成するなど、DIYにハマっています。設計図

通りに上手くいくと満足でき、喜びを感じるため、やめられない一つです。

また、趣味では、小学生の頃からやっていたキャンプを3年前から再度トライし、ソロキャンプ・家族や職場の仲間や友人とのキャンプを年15回程度楽しんでいます。

キャンプは、非日常を味わう魅力や自然の偉大さを感じることが出来る為、とてもハマっている趣味です。また、今年から雪中キャンプも始め、薪ストーブで暖を取ったり、冬は空気が澄んでるため透明感のある星空を眺めて、焚き火をしたりと一年中キャンプをして楽しんでいます。



水戸済生会総合病院

倉川 江里那

私の休日は、スポーツで汗を流すことです。コロナ禍の時代を過ごしていたので何か体を動かし運動不足を解消しようと思っていました。そこで、学生時代にソフトテニスをしていた事もあり、今年から当時の友人と練習を週に2回、3時間程度始めました。プレイするのは15年ぶりだったので、最初は久々の運動で筋肉痛になりましたが、5ヶ月経った今では、楽しく体を動かし休日には公式試合にも出るようになりました。試合で勝ったり負けたりと仲間と喜びや悔しさを分かち合ったり、体を動かす事で気分転換にもなっています。今後も趣味と仕事を両立させ充実した日々を送りたいと思っています。



研修会案内

茨城県看護連盟主催会員・賛助会員研修会

日 時：2024年2月24日(土) 13:30～16:00

会 場：ホテルテラスザガーデン水戸

「健やか寄席」～笑うあなたに福来る～

講 師：古今亭 文菊 師匠 神田 山緑 先生



2023年度茨城県看護連盟会員研修会

日 時：2024年3月23日(土) 13:30～16:30

会 場：看護研修センター

「国政報告」

講 師：参議院議員 石田 まさひろ 先生

「診療報酬制度改定のポイントと看護対策について」

講 師：公益社団法人日本看護協会労働政策部看護労働課 奥村 元子 先生



2024年度 茨城県看護連盟会員

入会受付中

日本看護連盟公認キャラクター



みんな集まれ！楽しいよ！！

正会員 年会費 7,000円 (日本看護連盟会費 5,000円・茨城県看護連盟会費 2,000円)
・看護協会会員であること。

特別会員 年会費 7,000円 (日本看護連盟会費 5,000円・茨城県看護連盟会費 2,000円)
・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。

賛助会員 年会費 1,000円
・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。

学生会員 年会費 無料
・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。

皆さまのご入会をお待ちしております。

お問合せ 茨城県看護連盟ホームページをご覧ください。
<https://ibaraki-kangorenmei.jp/>

〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL：029-225-3992 FAX：029-232-8648
E-mail：info@ibaraki-kangorenmei.jp

茨城県看護連盟 ホームページ紹介

随時
更新中!

<https://ibaraki-kangorenmei.jp/>



不要な羽毛ふとんはありませんか？

東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、
SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。

引取り詳細▶



- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外は引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project



東洋羽毛北関東販売株式会社 茨城営業所
310-0842 茨城県水戸市けやき台2-19-2

0120-46-1590



0120-46-1590

編集後記

COVID-19感染症が5類に移行してから、初めてのお正月。あけましておめでとうございます。
今年も会員みなさまに、さまざまな情報をお届けしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(広報委員)